

INPTA

スピーディスペシャル®

株式会社 仁 田

目次

スピーディスペシャルの特長	1
スピーディスペシャルの使用方法	2
標準型・促進型	3
一般型・ピーシー	4
ファイン・ファインII・YN-エポプライマー	5
フローア・ゼロワン	6
ストロング・コンクリート	7
ストロングHS	8
軽量型・超軽量型	9
YN-SBR II・YN-SBR III (万能混和剤)	10
YN-アクリル	11
YN-弾性ボンド	12
YN-防錆剤・YN-カチオンセット	13
EPタイト#10	14

試験成績書 (標準型)

試験成績書 (ストロングHS)

PL法に基づく記載

分類	粉体製品	液体製品
用途	・セメント系プレミックスモルタル	・セメント混和剤、塗布剤
取扱上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・目に入ると炎症を起こすことがあります。取扱う際は保護眼鏡を使用する等目に入らないようにして下さい。 ・皮膚に触れると炎症を起こすことがあります。取扱う際は保護手袋（ゴム手袋等）を使用する等皮膚に触れないようにして下さい。 ・舐めないでください ・炎症を起こすことがあります。 ・作業する時は、保護マスクを着用してください。 ・子供の手の届かない所においてください。 ・使用する際は、標準配合を厳守してください 	<ul style="list-style-type: none"> ・セメント関連以外には絶対使用しないでください。 ・飲まないでください。 ・他容器（ジュース・コーラ等の缶、ビン類）に移し変えると誤飲する事があります。 ・目に入ると炎症を起こすことがあります。取扱う際は保護眼鏡をする等目に入らないようにして下さい。 ・皮膚に触れると炎症を起こすことがあります。取扱う際は保護手袋（ゴム手袋等）を使用する等皮膚に触れないようにして下さい。 ・製品自体は、不燃性ですが水分が蒸発した後の乾燥物は、可燃性となりますのでご注意ください。 ・子供の手の届かない所に置いてください。 ・使用する際は、標準配合を厳守してください。
応急処置	<ul style="list-style-type: none"> ・目に入った場合は、清浄な水で15分間洗浄し、医師の診断を受けてください。 ・皮膚に付着した場合は、圧搾空気で吹き飛ばした後、水で洗浄してください。 ・飲み込んだ場合は、水でよく口の中を洗い、直ちに医師の診断を受けてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目に入った場合は、清浄な水で15分間洗浄し、医師の診断を受けてください。 ・皮膚に付着した場合は、ぬるま湯又は水を流しながら洗浄してください。 ・飲み込んだ場合は、水でよく口の中を洗い、直ちに医師の診断を受けてください。
保管方法	<ul style="list-style-type: none"> ・他の容器に小分けして保管しないでください。 ・湿気厳禁で保管してください。 ・直射日光を避け屋内で保管してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の容器に小分けして保管しないでください。 ・凍結、直射日光を避け屋内で保管してください。 ・保管時の温度は5℃以下及び40℃以上とならないようにして下さい。 ・皮張り防止のため、使用後は密封して貯蔵してください。
廃棄上の注意	・都道府県知事許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。	

仕上・補修用
急硬モルタル
® 2107600

スピーディスペシャル

コンクリートは、強度・耐久性・耐火性に優れ、鉄筋と組み合わせることにより、半永久的と信じられてきました。しかし、最近の施工、骨材事情、社会環境の変化等により、コンクリート神話はくずれてきました。また、表面の仕上り状態、ひびわれ、角欠け、ピンホールの補修の他、汚れ防止等、外観に対する要求も高まってきています。

「これらの諸問題の解決」にスピーディスペシャルをお奨め致します。

スピーディスペシャルの特長

1. 短い工期で美しい仕上り面が得られる。

特殊な速硬性無機化合物を主成分としているので、短い工期で、誰にでも美しい仕上り面が得られます。

2. 種類が豊富で、色々な分野の要求に応えられる。

プレミックスの調合が16種類あるので、色々な目的に応えられます。

3. 品質の安定した、高性能モルタルです。

厳選された材料を、管理の行き届いた工場で製造していますので、品質が安定しており、現場管理も容易なので、水で練るだけで、曲げ、圧縮、接着強度が高く、収縮の少ないモルタルが得られます。

4. 有害物、有毒物を含んでいません。

金属類を腐食することなく、防水性に富んだモルタルが得られます。

※特殊用途に合せた、特別調合も行いますので、ご相談下さい。

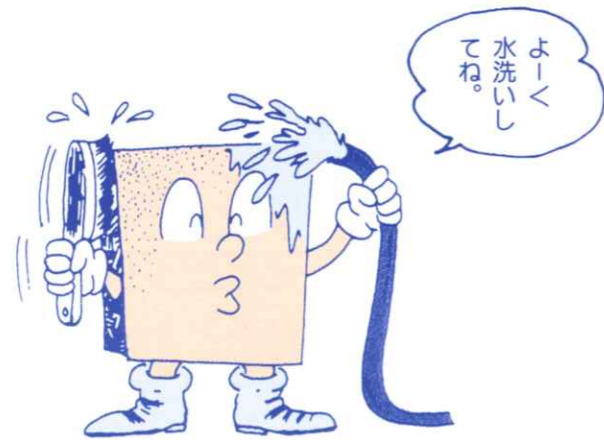
性状を示す数値は、JIS R 5201 等に準じて行なった試験例です。

カタログに記載されているデータは標準値であり保証値ではありません。

このカタログの記載内容は2012年4月現在のものです。

なお製品改良等により予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

スピーディスペシャルの使用法



1. 下地処理

- 下地のチリ、ホコリ、レイタンスは除去する。
- 油分は必ず脱脂する。
- はつり面はフロア等で掃除する。
- ひびわれは、ハツルか、エポキシ樹脂を充てんする。
- 下地となる面は十分に水打ちを行い、仕上げ材との付着性を高める。
- 浮き水は必ず処理する。
- YN-SBRシリーズを事前にそのまま塗布する事は絶対に行ってはならない。
(耐水性の強いフィルム層を形成し、付着が悪くなる。)

2. 混練

- YN-SBR II は、水で2~3倍にうすめて使用する。
(YN-SBR III は、そのまま使用する。)
- YN-アクリルは、水で3倍にうすめて使用する。
- 練り混ぜは、できるだけマゼラー等、機械練りとする。
- 凝結が早いので、練った材料は、一度に使いきる。
- 練り混ぜ液の配合割合は、それぞれ所定の量とするが、湿度・温度により若干変化するので、適宜加減する。

3. 施工

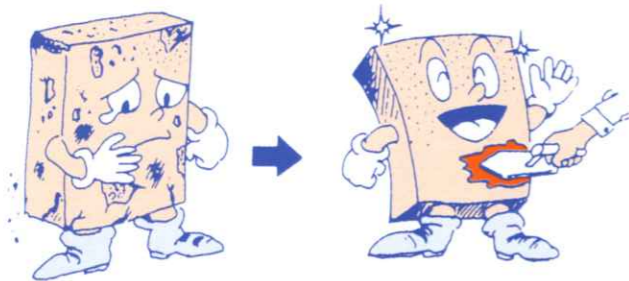
- 施工前に下地を確認し、乾いている場合は再度水打ちを行う。
- 下塗りは、必ず腰の強いハケ又は、コテで圧力をかけ、しごく様にノロ引きして施工する。
- 凹部は先に施工し、仕上げ厚さが一定となる様にする。
- 垂直部の場合、一層の塗り厚は、ダレが生じない程度とする。
- 大きな欠損部は必要に応じて、ピン打ち、ワイヤメッシュで補強し、枠等で押さえる。
- 表面仕上げは金ゴテで行う。
- 直射日光の下での施工は、急激な水分の蒸発でひびわれの原因となるので、できるだけ避ける。
- 施工厚が20mmを超える場合、仕上面より約5mm残して下塗りを行い、下地硬化後上塗りをして仕上げる。

4. 養生

- 硬化するまで、雨水等がかからない様にする。
- 施工直後、凍結が予想される場合は、施工を中止する。
止むを得ない場合は、保温養生を行う。

5. 注意事項

- 固まりかけた材料は絶対に使ってはならない。
- 材料の練り戻しは行ってはならない。
- コテ等に付着したスピーディスペシャル等は、できるだけ早く水洗いする。
- 5℃以下での施工は避ける。
- 他の骨材等を添加して混練してはならない。
(スピーディスペシャルコンクリートを除く)



標準型 促進型

仕上げ急硬プレミックスモルタルの代名詞
スピーディスペシャルの代表品種

荷姿

20kg防湿紙袋又は
5kg×4袋段ボール箱入

コンクリートのワレ、カケ、ピンホール等の仕上げに必要な、「落ちない」「割れない」「目立たない」「水を吸わない」性能をもち、ほとんどの部分補修、仕上げに使用出来る、万能型急硬性モルタルです。

PC版、ボックスカルパート等コンクリート二次製品の仕上げ、欠損部、ジャンカの補修の他、PC道路橋の端部処理等にご使用ください。

促進型は、低温時に使用するのが最適です。

色は標準色(Nタイプ)、濃色(Dタイプ)、淡色(Wタイプ)からお選びください。

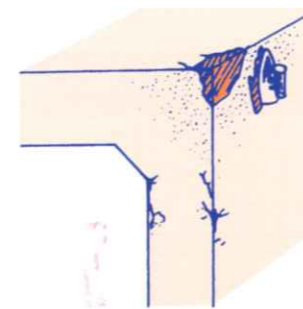
標準調合

	スピーディスペシャル	練り混ぜ液	練り上り量	フロー値	凝結時間(20℃)
標準型	20kg	3.4kg	11ℓ	170~190mm	40~70分
促進型	20kg	3.5kg	11ℓ	150~170mm	5~20分

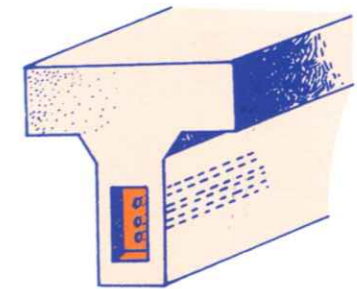
試験結果

種類	練り混ぜ液	項目 強度	強度試験(N/mm ²)				接着強度 (N/mm ²)	収縮率 (×10 ⁻⁶)	吸水率 (%)			
			2時間	1日	7日	28日						
普通モルタル (C:S=1:3)	水	曲げ	—	1.2	5.7	5.9	0.3	1200~1500	10			
	YN-SBR III	曲げ	—	3.4	18.1	28.0						
標準型	水	曲げ	—	1.4	6.4	7.0	0.9	800~1000	3			
		圧縮	—	3.5	19.0	28.9						
	YN-SBR III	曲げ	3.5	4.9	7.3	10.6	1.7	800	2			
		圧縮	14.7	21.6	34.3	41.5						
		曲げ	4.4	5.4	7.4	9.9				2.1	700	1.5
		圧縮	15.7	22.6	35.3	41.5						
※YN-アクリル	曲げ	4.8	6.0	8.0	10.1	2.4	485	1.0				
	圧縮	18.1	24.1	36.4	42.6							
促進型	水	曲げ	3.4	4.9	6.4	7.8	1.6	800	2			
		圧縮	15.7	20.6	32.4	38.8						
	YN-SBR III	曲げ	3.9	5.4	6.9	8.5	2.0	700	1.5			
		圧縮	16.2	21.6	33.3	39.8						
		曲げ	4.5	5.6	7.5	8.9				2.2	550	1.3
		圧縮	17.3	22.0	34.1	41.0						

※YN-アクリルは水3倍希釈液を使用



二次製品の補修仕上げ



梁の端部処理
JISげたによるPC道路橋

一般型

一般緊急工事用急硬モルタル

大面積や厚塗り部分の補修、仕上げ用に、より収縮を少なくさせた急硬性モルタルです。

荷姿

20kg防湿紙袋

標準調合

一般型	練り混ぜ液	練り上り量	フロー値	凝結時間(20℃)
20kg	2.4kg	10ℓ	160~180mm	40~70分

試験結果

種類	練り混ぜ液	項目 強度 割合	強度試験(N/mm ²)				接着強度 (N/mm ²)	収縮率 (×10 ⁻⁶)	吸水率 (%)
			2時間	1日	7日	28日			
普通 モルタル (C:S =1:3)	水	曲げ	—	1.2	5.7	5.9	0.3	1200~1500	10
		圧縮	—	3.4	18.1	28.0			
	SBRⅢ	曲げ	—	1.4	6.4	7.0	0.9	800~1000	3
		圧縮	—	3.5	19.0	28.9			
一般型	水	曲げ	2.9	4.9	5.9	8.0	2.4	490	5
		圧縮	7.8	17.9	27.9	33.9			
	SBRⅢ	曲げ	3.9	5.3	6.5	10.0	2.4	400	2
		圧縮	9.8	19.6	28.1	37.0			

ピーシー

削り仕上げができる仕上用急硬モルタル

コンクリートの補修、仕上げ時、コテ仕上げの他、初期硬化後、左官コテ、ナイフ等で切削仕上げもできます。またダレが少ないので垂直部の仕上げにも適した急硬性モルタルです。

使用条件により、1M、5M、20M、60M(硬化時間:1分、5分、20分、60分、120分の5タイプ)があります。色は、標準色(Nタイプ)、濃色(Dタイプ)の2種類からお選びください。

荷姿

20kg防湿紙袋

標準調合

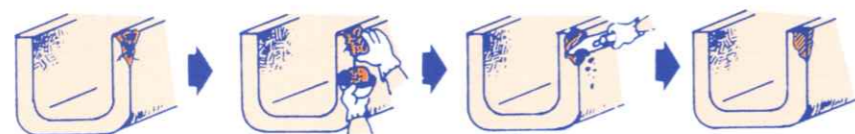
ピーシー	練り混ぜ液	練り上り量	フロー値	凝結時間(20℃)
20kg	4.8kg	15ℓ	140~160mm	15~30分

(20M)

試験結果

種類	練り混ぜ液	項目 強度 割合	強度試験(N/mm ²)				接着強度 (N/mm ²)	収縮率 (×10 ⁻⁶)	吸水率 (%)
			2時間	1日	7日	28日			
普通 モルタル (C:S =1:3)	水	曲げ	—	1.2	5.7	5.9	0.3	1200~1500	10
		圧縮	—	3.4	18.1	28.0			
	SBRⅢ	曲げ	—	1.4	6.4	7.0	0.9	800~1000	3
		圧縮	—	3.5	19.0	28.9			
ピーシー	水	曲げ	2.1	3.2	4.2	6.4	1.4	1200	5
		圧縮	8.4	11.5	23.1	27.3			
	SBRⅢ	曲げ	3.2	3.7	5.3	6.9	2.3	940	2
		圧縮	10.5	13.6	26.2	31.4			

(20M)



二次製品のフレカケ仕上げ
仕上げた所を盛り上げておき、
後でコテでカットできます。

ファイン ファインⅡ

うす塗り仕上げ用急硬モルタル

ピンホール、クラックの補修・仕上げ、表面のうす塗り仕上げの他、コンクリート色の塗料用モルタルです。又、タイル等のウキ部分への注入にも適しています。

(うす塗りで使用する場合は必ずYN-SBRの希釈液で練ってご使用下さい。)

荷姿

20kg防湿紙袋

標準調合

	スピーディスペシャル	練り混ぜ液	練り上り量	フロー値	凝結時間(20℃)
ファイン	20kg	5.0kg	12ℓ	180~200mm	4~7時間
ファインⅡ	20kg	5.0kg	12ℓ	180~200mm	30~60分

試験結果

ファイン・ファインⅡ共 0~1mm厚さ以内で使用のこと。

種類	練り混ぜ液	項目 強度 割合	強度試験(N/mm ²)				接着強度 (N/mm ²)	収縮率 (×10 ⁻⁶)	吸水率 (%)
			2時間	1日	7日	28日			
普通 モルタル (C:S =1:3)	水	曲げ	—	1.2	5.7	5.9	0.3	1200~1500	10
		圧縮	—	3.4	18.1	28.0			
	SBRⅢ	曲げ	—	1.4	6.4	7.0	0.9	800~1000	3
		圧縮	—	3.5	19.0	28.9			
ファイン	SBRⅢ	曲げ	—	2.9	6.6	7.5	1.4	680	2
ファインⅡ	SBRⅢ	曲げ	2.0	3.5	6.4	6.9	1.6	980	3
		圧縮	5.9	9.8	26.5	34.3			

YN-エポ プライマー

高強度エポキシ樹脂特殊プライマー

YN-エポプライマーは、2液硬化型特殊プライマーです。通常のコンクリート乾燥面への利用はもちろん、異種の下地にも強力な接着性を有しております。

荷姿

4.8kg/セット (主剤) 4kg/缶
(硬化剤) 0.8kg/缶
18kg/セット (主剤) 15kg/缶
(硬化剤) 3kg/缶

主な用途

- 新旧コンクリート・モルタルの打ち継ぎ面接着
- モルタル用プライマー
- 連続繊維シートの接着
- コンクリート保護及び防水工事のプライマー
- セメントモルタル・レジンモルタルのタックコート

使用方法

1. 施工面の汚れ(埃・油分等)を除去して下さい。
2. 主剤に水を加え攪拌混合後に硬化剤を加えて更に良く混合して下さい。
3. 一度に混合する量は可使時間内に使いきれぬ量とします。配合したものを翌日使用する事はできません。
4. 上塗りはプライマーの表面に粘り(タック)が出てから施工して下さい。
5. 塗布面が硬化した場合は、再度塗り直して下さい。
6. 施工後24時間以上の硬化養生を行って下さい。過度な衝撃等を与えないよう注意して下さい。
7. 施工は5℃以上の環境で行って下さい。5℃以下での施工の場合は弊社までお問合せ下さい。

標準調合

品名	配合比	YN-エポプライマー
セット		
主剤	100(5)	15.0kg
硬化剤	20(1)	3.0kg
水	60(3)	9.0kg

接着力試験結果

種類	材齢7日	材齢28日
YN-エポプライマー(N/mm ²)	1.25	1.83
塗布なし(N/mm ²)	0.90	1.21

※試験条件 当社速硬セメント系補修材
YN-アクリル3倍液/粉体=22%~24%
YN-エポプライマー 塗布量 0.15kg/m²
下地 JISコンクリート板(JIS A 5403) 塗厚 5mm

フロアー

厚塗り仕上げ用急硬モルタル

厚塗り、床工事に必要な、可使時間が長く（40分）、歩行可能までの時間が短い（約3時間）急硬性モルタルです。

収縮が少なく、接着強度も高いので、施工後のワレ、ウキの心配がほとんどありません。

荷姿

20kg防湿紙袋

標準調合

フロアー	練り混ぜ液	練り上り量	フロー値	凝結時間(20℃)
20kg	2.6kg	10ℓ	185~205mm	40~70分

試験結果

種類	練り混ぜ液	項目 材名 強度	強度試験(N/mm ²)				接着強度 (N/mm ²)	収縮率 (×10 ⁻⁶)	吸水率 (%)
			2時間	1日	7日	28日			
普通 モルタル (C:S =1:3)	水	曲げ	—	1.2	5.7	5.9	0.3	1200~1500	10
		圧縮	—	3.4	18.1	28.0			
	SBRⅢ	曲げ	—	1.4	6.4	7.0	0.9	800~1000	3
		圧縮	—	3.5	19.0	28.9			
フロアー	水	曲げ	1.0	2.9	4.9	5.9	1.1	660	4
		圧縮	4.4	8.8	17.7	23.5			
	SBRⅢ	曲げ	1.5	3.5	5.4	6.4	1.8	580	2
		圧縮	5.4	10.0	20.0	27.4			

ストロング

高強度仕上げ用急硬モルタル

スピーディスペシャルシリーズの中で、50N/mm²を超える圧縮強度を出す急硬性モルタルです。特に早強性、高強度性の必要な部分の補修、仕上げに適しています。

荷姿

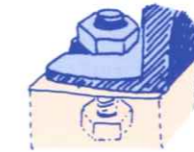
20kg防湿紙袋

標準調合

ストロング	練り混ぜ液	練り上り量	フロー値	凝結時間(20℃)
20kg	2.7kg	10ℓ	185~205mm	15~30分

試験結果

種類	練り混ぜ液	項目 材名 強度	強度試験(N/mm ²)				接着強度 (N/mm ²)	収縮率 (×10 ⁻⁶)	吸水率 (%)
			2時間	1日	7日	28日			
普通 モルタル (C:S =1:3)	水	曲げ	—	1.2	5.7	5.9	0.3	1200~1500	10
		圧縮	—	3.4	18.1	28.0			
	SBRⅢ	曲げ	—	1.4	6.4	7.0	0.9	800~1000	3
		圧縮	—	3.5	19.0	28.9			
ストロング	水	曲げ	3.9	6.1	8.2	8.9	2.2	500	2
		圧縮	24.5	30.1	45.0	49.3			
	SBRⅢ	曲げ	4.4	6.3	8.7	10.7	2.4	350	1.5
		圧縮	26.5	30.3	44.5	50.1			



ゼロワン

1分で硬化、止水に最適

止水等に必要な、急速反応性セメントを使用していますので、水で練るだけで、約1分で硬化します。(5℃の場合)

荷姿

5kg×4袋ペール缶入

標準調合

ゼロワン	練り混ぜ液	練り上り量
5kg	1.25kg	3ℓ

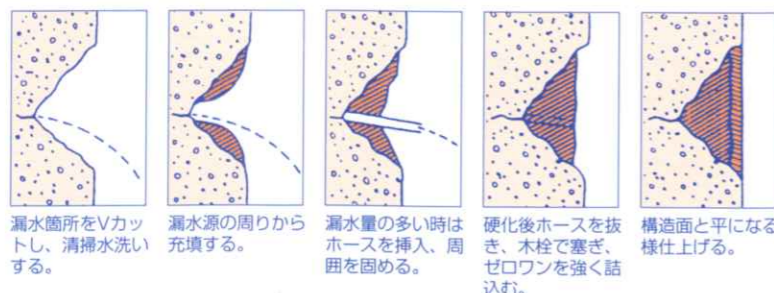
試験結果

項目 材名 強度	強度試験(N/mm ²)			接着強度 (N/mm ²)
	1時間	1日	28日	
曲げ	2.8	3.5	6.0	2.0
圧縮	10.8	20.6	36.3	

使用方法

ゴム容器に、ゼロワン：水を、4：1の割合で混合し、ゴム手袋をした手で素早く練り、硬化する前に充てん箇所強く押し込み、固まるまで押さえます。

止水工法



- ゼロワンはセメントと同じアルカリ性ですから、ゴム手袋を使用して下さい。皮膚、衣服についた場合は直ちに水で洗って下さい。
- ゼロワンは特殊モルタルですから、他のセメントや混和剤と混合しないで下さい。
- 普通セメントと同じ吸湿性があるので、密封して保存して下さい。

コンクリート

緊急コンクリート工専用



スピーディスペシャルシリーズの中で唯一、砂利を使用時に混ぜて使用するタイプで耐摩耗性に優れ緊急コンクリート舗装、厚塗り改修工事に適した急硬性材料です。特注品につき、納期が約2週間かかります。

荷姿

20kg防湿紙袋

使用方法

- スピーディスペシャル・コンクリート1袋(20kg)に、砂利を20~30kg入れ空練りして下さい。
- 所定のスランプに応じて、水又はYN-SBR希釈液を加えて混合して下さい。
- 混練後30分以内に打設して下さい。

標準調合

スピーディスペシャル・コンクリート(kg)	砂利(kg)	水(kg)	水/コンクリート(%)	スランプ(cm)	練り上り量(ℓ)
20	20	2.42	12.1	19.0	18
20	30	2.56	12.8	18.1	22

試験結果

配合の種類	強度試験(N/mm ²)				
	2時間	5時間	1日	7日	28日
スピーディスペシャル・コンクリート：砂利					
20kg：20kg	6.1	10.0	20.7	26.5	36.6
20kg：30kg	5.4	8.6	13.2	21.1	31.4

ストロング HS

超高強度補修用ポリマーセメントモルタル

スピーディスペシャルストロングHSは、超高強度のPC部材・RCセグメント等のプレキャスト製品の欠損部、仕上げ補修に最適なプレミックスポリマーセメントモルタルです。

通常の断面修復用ポリマーセメントモルタルに比べ圧縮強度が非常に高く、材齢28日で60N/mm²以上、91日で70N/mm²以上を発現します。

現在まで、超高強度部材専用の断面修復材料がほとんど開発されていないことから、高強度部材の補修仕様書に組み入れられたり、実際に使用したり出来るものがありませんでした。

スピーディスペシャルストロングHSは、その様な問題に出来るべく開発された製品です。

荷姿
20kg防湿紙袋

特長

- 超高強度性 (70N/mm²以上) および高付着性を有します。
- 急硬性なので短時間で硬化し、乾燥収縮が極めて少ないです。
- YN-アクリルで混練することにより、ポリマーセメントモルタルになります。
- 各種混和材を製造段階でプレミックスしているので品質が安定しています。
- 無収縮グラウト材等と異なり、型枠を組む必要がなく、金ゴテ仕上げができます。

使用方法

1. 下地処理 下地のレイタンス処理、脆弱部分の除去等を完全に行なって下さい。
2. 下地清掃 水洗い等を行い、下地面の清掃を行なって下さい。
3. 水打ち 下地となる面は、十分に水打ちを行なって下さい。
4. 混練 スピーディスペシャルストロングHS 20kgに対し、YN-アクリルの水3倍希釈液2.7kgで混練して下さい。
5. 塗り付け 十分に混練したスピーディスペシャルストロングHSを下地にしごき塗りをした後、十分にコテ圧をかけて成型あるいはしごき付けを行なって下さい。
6. 養生 塗り付け後の養生は7日間以上として下さい。

標準調合

スピーディスペシャルストロングHS	YN-アクリル3倍液	練り上り量	フロー値	凝結時間(20℃)
20kg	2.7kg	10ℓ	170mm	15~30分

試験結果

日本建築学会 断面修復用ポリマーセメントモルタルの品質基準(案)

試験項目	単位	試験結果	品質基準	試験方法	
圧縮強度	材齢 28日 (N/mm ²)	69.7	20.0以上	JIS A 1171 「ポリマーセメントモルタルの試験方法」7.2 圧縮強さおよび曲げ強さ試験方法	
	材齢 91日 (N/mm ²)	74.6			
曲げ強度	材齢 28日 (N/mm ²)	14.3	6.0以上	JIS A 1171 「ポリマーセメントモルタルの試験方法」7.3	
	材齢 91日 (N/mm ²)	14.9			
付着強度	材齢 28日 (N/mm ²)	2.7	1.0以上	JIS A 1171 「ポリマーセメントモルタルの試験方法」7.9	
温冷繰り返し後付着	材齢 28日 (N/mm ²)	2.6	1.0以上	JIS A 1171 「ポリマーセメントモルタルの試験方法」7.4	
吸水試験	—	g	20.0以下	JIS A 1171 「ポリマーセメントモルタルの試験方法」7.5	
透水試験	—	mL/h	0.1	0.5以下	JIS A 1171 「ポリマーセメントモルタルの試験方法」7.6
長さ変化試験	材齢 28日	%	0.02	0.15以下	JIS A 1171 「ポリマーセメントモルタルの試験方法」7.6

※(財)ベターリビングにて試験実施。本試験結果は標準値であり、保証値ではありません。

軽量型

比重1.5

うす塗り・厚塗り兼用 軽量急硬性モルタル

荷姿
15kg防湿紙袋

収縮が少なく、コテ切れがよいので、ピンホール・クラックの仕上げから、ジャンカ、欠損部の仕上げ、ボルトボックスの穴埋め等、一度塗りで施工できる急硬性モルタルです。

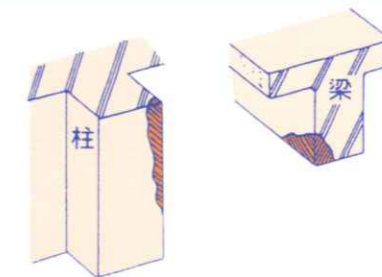
標準調合

軽量型	練り混ぜ液	練り上り量	フロー値	単位容積質量	凝結時間(20℃)
15kg	3.6kg	11.5ℓ	150~170mm	1.6kg/ℓ	40~70分

※練り混ぜ液は、YN-SBRⅢ(使用液タイプ)を使用。

試験結果

種類	練り混ぜ液	項目 強度 材齢	強度試験(N/mm ²)				接着強度 (N/mm ²)	収縮率 (×10 ⁻⁶)	吸水率 (%)
			2時間	1日	7日	28日			
普通 モルタル (C:S =1:3)	水	曲げ	—	1.2	5.7	5.9	0.3	1200~1500	10
		圧縮	—	3.4	18.1	28.0			
	SBRⅢ	曲げ	—	1.4	6.4	7.0	0.9	800~1000	3
		圧縮	—	3.5	19.0	28.9			
軽量型	SBRⅢ	曲げ	2.9	4.1	6.3	8.5	1.6	940	2
		圧縮	7.8	16.8	26.0	30.9			



下地処理(ケレン・清掃・水打ち等)
必要工数で施工
型枠・定規等を使用
コテで仕上げる
健全部と接する補修界面は、
水刷毛等で均し仕上げをする

超軽量型

比重1.1

上げ裏の施工にも使用できる 超軽量急硬性モルタル

荷姿
10kg防湿紙袋

超軽量で接着力が高いため、上げ裏の施工の他に、厚塗り施工してもダレの少ない急硬性モルタルです。

標準調合

超軽量型	練り混ぜ液	練り上り量	フロー値	単位容積質量	凝結時間(20℃)
10kg	4.2kg	12ℓ	150~170mm	1.1kg/ℓ	60~120分

※練り混ぜ液は、YN-SBRⅢ(使用液タイプ)を使用。

試験結果

項目 強度 材齢	強度試験(N/mm ²)				接着強度 (N/mm ²)	収縮率 (×10 ⁻⁶)	吸水率 (%)
	2時間	1日	7日	28日			
曲げ	1.0	2.5	4.2	6.2	1.4	900	7
圧縮	2.0	6.8	11.8	14.7			



下地処理
(ケレン・清掃・水打ち等)



手またはコテでしごく様に
施工する



健全部と接する補修界面は、
水刷毛等で均し仕上げをする

YN-SBRⅡ
(濃縮液)
YN-SBRⅢ
(使用液)

JIS A 6203 規格適合品
モルタル、コンクリート混練用合成高分子エマルジョン

荷 姿

18kg缶入

YN-SBRⅡは特殊SBR合成ゴムラテックスを主成分とした濃縮液のモルタル・コンクリート用万能混和剤です。特にスピーディスペシャルと併用すれば多目的に利用できます。

YN-SBRⅢは水で希釈せず、そのまま利用できる使用液タイプです。

特 長

1. 各種基材との接着性に優れています。(コンクリート、鉄、木材等)
2. 防水性、耐薬品性、耐酸、耐アルカリ性に優れています。
3. 圧縮強度、曲げ強度、接着強度を向上させて耐摩耗性、耐衝撃性に優れています。
4. 収縮率を減少させ保水性に優れています。
5. 凍結融解性、防錆効果に優れています。
6. 浸透性がよいため注入材としても最適です。
7. 水の便利がよくない現場で、希釈するのが困難な時、そのまま使用できるYN-SBRⅢもあります。

使用方法 (本カタログ中のYN-SBRⅡ 3倍液とYN-SBRⅢはほぼ同等の性能です。)

YN-SBRⅡは2倍~3倍液で混練して下さい。(YN-SBRⅢでは、この作業は不要です。)

● 2倍液とは



● 3倍液とは



1. 普通モルタルの場合は、先にセメントと砂を空練りし、その中にYN-SBRⅡ 3倍液(又は、YN-SBRⅢ)を水の代りに入れて十分に練って下さい。
2. スピーディスペシャルの場合は、そのまま、YN-SBRⅡ 3倍液(又は、YN-SBRⅢ)を水の代りに入れて十分に練って下さい。特に接着強度が必要な場合は、YN-SBRⅡ 2倍液で練って下さい。
3. 以下、スピーディスペシャルの使用法の項目を参考にして下さい。

性 状 (YN-SBRⅢはYN-SBRⅡの使用液タイプで基本的な性状は全く変わりません。)

外 観：乳白色
固成分：45%
粘 度：20mpa·s
P H：8.9
比 重：1.01

注意事項

1. YN-SBRシリーズは絶対に原液をそのまま施工面に塗布しないで下さい。
2. YN-SBRの希釈液を混入したモルタルは、若干コテバナレが悪くなります。また、硬化が若干遅れます。
3. 必要以上に混練しますと、空気連行の原因となります。
4. その他、特殊な混和剤、骨材を使用する場合は、必ず事前に試験を行った下さい。



YN-
アクリル

JIS A 6203 規格適合品
カチオン系セメントモルタル混和用ポリマーディスペーション

荷 姿

18kgペール缶入

YN-アクリルは、セメント混和用のカチオン系アクリル樹脂エマルジョンで、モルタルに所定量以上混入することにより、諸特性を向上させる高品質のモルタル混和材です。しかもYN-アクリルはカチオン〔陽(+)電気〕を帯びたエマルジョンですから陰(-)電気を帯びた砂、セメントと静電的に引き合っ、下地と強く接着します。

また、吸水調整剤として、塗布工法にも優れた接着力を発揮します。

特 長

- モルタルに混入および下地に塗布することにより、優れた接着力を発揮します。
- 透水性、乾燥収縮を減少させます。
- 中性化防止、遮塩性、防錆性に優れています。
- 保水性に優れ、ドライアウトを防止します。

使用方法

1. 下地処理 下地のレイトランス処理、脆弱部分の除去後、水洗い等下地面の清掃を行って下さい。
2. 下地清掃 水洗い等を行い、下地面の清掃を行って下さい。
3. 吸水調整 YN-アクリル(18kg/缶)を、清水で3~5倍に希釈して刷毛等で施工界面にムラなく塗布して下さい。
4. 混 練 セメント25kgと砂75kgに対し、YN-アクリル：清水=5kg：10kgの希釈液で十分に混練し、金コテで施工面に塗りつけて下さい。
(註)3kg/缶の場合
5. 養 生 塗り付け後の養生は7日間以上として下さい。

試験結果

試験項目	単 位	試 験 結 果	JIS A 6203における規定
外 観	—	異常は認められない	粗粒子・異物・凝固物などが無いこと
比 重	—	1.023	—
P H	—	6.0	—
不揮発分	%	46.0	35.0%以上
フロー値	mm	166	170±5
曲げ強さ	(N/mm ²)	16.7	8.0以上
圧縮強さ	(N/mm ²)	56.0	24.0以上
接着強さ	(N/mm ²)	2.8	1.0以上
吸水率	%	2.8	10.0以下
透水量	g	1.1	15以下
長さ変化率	%	0.078	0~0.150

※(財)ベターリビングにて試験実施。上記の数値は標準値であり保証値ではありません。

YN- 弾性ボンド

伸び縮みするモルタル

YN-弾性ボンドは、特殊弾性アクリル酸エステル樹脂を主成分とした弾性モルタルのセメント混和用ポリマーディスペーションです。特殊配合の粉体（弾性ボンドパウダー）と混合して造膜した塗膜は、水性の弾性塗膜防水材として効果を発揮します。

YN-弾性ボンド（主材）を、弾性ボンドパウダー（粉体）と混合したYN-弾性ボンドモルタルは、下地のクラックに対し伸縮追随し防水性を向上させます。

特長

1. 施工面にクラックが入っても、その上のYN-弾性ボンドモルタルはクラックを生じません。耐水性にも優れているので、防水工事の下地材として最適です。
2. コンクリートの中性化防止、鉄筋の防錆効果も得られます。
3. コンクリート、鉄、タイル、木材等に強い接着強度が得られます。

使用方法

1. 下地処理・プライマー塗布 (1) モルタル、コンクリート
良く清掃し、プライマー（YN-水性エポキシA剤:B剤=1:1で混合）を塗布して下さい。
(2) 鉄板、その他
錆が発生している時は、ケレン処理を先に行ってください。次に良く清掃し、施工面は乾燥させておいて下さい。
2. 混練 所定量の弾性ボンドパウダーにYN-弾性ボンド（主材）を加え、必ず機械で練って下さい。
3. 施工 1回の塗り厚を1mmとし、金ゴテ、ハケ等で塗布して下さい。重ね塗りを行う場合は、1層目が硬化してから行って下さい。YN-弾性ボンド1缶で平面部は約17㎡、立上部は約22㎡施工できます。（1mm厚）

標準調合

（平面部の施工）

弾性ボンドパウダー	YN-弾性ボンド	可使時間	硬化時間
2 kg	2.4 kg	50~60分	150~180分

※立上部の施工の場合は
弾性ボンドパウダー 2kg : YN-弾性ボンド 1.4kg
の配合となります。

試験結果

項目		測定値	
引張強さ (N/mm ²)		1.2	
破断時の伸び率 (%)		177	
ゼロスパンテンション伸び量 (mm)	標準	2.6	
	劣化処理後	加熱処理	2.1
		アルカリ処置	2.2
付着強さ (N/mm ²)	標準	0.7	
	湿潤下地		0.7
	劣化処理後	加熱処理	1.7
		アルカリ処置	0.7
		浸水処理	0.6
		透水性 (g)	0.0 漏水なし

荷姿

- ・YN-弾性ボンド：18kg缶入
- ・YN-弾性ボンドパウダー：20kg袋入
- ・YN-水性ボンドエポキシ：8kgセット (A剤：4kg) (B剤：4kg)

YN- 防錆剤

水性1液タイプ

YN-防錆剤は、水性1液タイプの特殊変性エマルジョンを主成分とした反応性錆止め塗料です。

特長

1. 錆に対して反応性を持っているので優れた防錆力と耐触性を示します。
2. 水性ですから作業性が良く危険性も少なく、作業後工具は水洗いできます。
3. 塗布乾燥後の樹脂塗膜は強度及び硬度に優れ、海水にも十分対応できます。

使用方法

1. 下地処理 ウキ錆、旧塗料は除去し、（第三種ケレン程度）油分は完全に脱脂して下さい。
2. 塗布 (1) 原液のまま、ハケ、ローラーで塗布して下さい。標準塗布量は120g/㎡です。状況に応じて2回塗り重ねて下さい。4kgポリ缶1缶で約33㎡（1回塗りの場合）施工できます。
(2) 重ね塗りは、約1時間以上おき、指触乾燥後に行ってください。（塗布後30分位で表面が黒紫色に変色します。）
(3) ペイント仕上げ YN-防錆剤塗布後、24時間以上乾燥させてから行って下さい。

性状

外観：淡紅色液状エマルジョン 比重：1.18 指触硬化：20℃で約30分 ※気温、湿度により異なります。
主成分：特殊変性エマルジョン PH：1.3~2.3

注意事項

- 水溶性のエマルジョンですから保管場所は5℃以上として下さい。凍結した製品の使用は避けて下さい。
- 50℃以上では部分的にゲルを生じる可能性がありますので高温での保存や使用は避けて下さい。
- 長期に亘る防錆工事には、必ずペイント等を併用して下さい。

荷姿

- ・4kgポリ缶
- ・240g×20本(箱)

YN- カチオン セット

下地調整用 プレミックスポリマー セメントモルタル

スピーディ
スペシャル
姉妹品

荷姿

20.5kgセット品(箱入)
粉体17kg
（接着強化液=3.5kg）

YNカチオンセットは、特殊プレミックス粉体とカチオン系アクリルエマルジョンとの組み合わせによって、各種下地に強力に接着する、下地調整用プレミックスポリマーセメントモルタルです。

性状

主成分	プレミックス粉体	アクリルエマルジョン（カチオン系）
混合比	17 kg	3.5 kg（原液で使用）
練り上り量	約10ℓ（施工面積：1mm厚で約10m ² ）	
可使時間（20℃）	60分以内	

特長

- 各種の下地に強力な接着力を発揮します。
- 既調合セット品なので高品質で使用が簡単です。
- 防錆力・中性化防止にも優れています。
- 乾燥による収縮がほとんどなく、ひび割れの発生が少ないです。
- コンクリート、モルタル、ALC、PCの補修。
- ウレタン、防水シート、アスファルト等防水層の下地調整。
- 陶磁器タイル、ガラス、合板等の被覆接着。
- 鉄板、カラー鉄板面の防錆被覆接着。

使用方法

1. 下地処理 下地のレイトランス処理、脆弱部分の除去後、水洗い等下地面の清掃を行ってください。
2. 下地清掃 浮き部分及び劣化部分は、はつり除去を行ってください。
3. 吸水調整 乾燥した下地には、水しめしを行ってください。
4. 混練 粉体と接着強化液を所定の調合比で練り容器に入れ、ハンドミキサーで十分に練り混ぜて下さい。（標準混合 粉体17kg 接着強化液 3.0~3.5kg）
5. 塗付け 混練したYN-カチオンセットを下地にコテで塗付けて下さい。（塗厚=1~3mm）
6. 養生 塗り付け後の養生時間は、夏期は1週間以上、冬期は2週間以上として下さい。

注意事項

- 下地がアルミニウム、ステンレス、ポリエステル、FRP、亜鉛メッキ及び、軟質下地面等の場合は、十分な接着力が得られませんので使用を避けて下さい。
- 接着強化液は、水で薄めないで使用して下さい。
- 下地が鉄板や鉄部で、錆が発生している場合又は錆止め塗料や一般塗料が塗布されている場合は、ワイヤーブラシ・サンダー掛け等で、錆や塗料を充分に除去して下さい。

EPタイト #10

高接着下地調整材

スピーディ
スペシャル
姉妹品

荷姿

EPタイト#10は、カチオン系アクリルエマルジョンと水性エポキシエマルジョンを組み合わせた特殊ポリマーセメントモルタルです。

EPタイト#10 34kgセット ダンボール
主 剤 4kg (ポリ容器入り) } ケース入り
硬化剤 4kg (ポリ容器入り) } 計 8kg
粉 体 13kg (紙袋入り)×2袋 計26kg

特 長

- コンクリート面に対して、極めて高い接着力強度を有しております。
- 異種下地（エポキシ・鉄面等）に対しても、高い接着力強度を有しております。

用 途

- 異種下地面等への接着バインダー（エポキシ・鉄面 等）
- 各種防水仕上げにおいて、コンクリート面の下地調整（1～3mm）

標準調合

粉 体	主 剤	硬化剤
13kg	2 kg	2 kg

標準施工面積

比重 (容量)	1.68kg/ℓ (約20.2ℓ/34kgセット)	
施工面積 (34kgセット当り)	塗厚 1mm	塗厚 3mm
	約20.2m ²	約6.7m ²

使用方法

予め、主剤（2kg）と硬化剤（2kg）を計量して容器に採り、軽く攪拌して下さい。

その後、粉体（1袋-13kg）を投入しハンドミキサー等を用いて十分に混練りして下さい。

※主剤・硬化剤は必ず計量して下さい。粉体は全量投入して下さい。少量ずつ御使用される場合は、上記の比率（重量比）で必ず計量して下さい。

- ①下地調整の確認 下地面が強靱であることを確認し、ホコリ油脂等は除去して下さい。その後、水洗い洗浄し乾燥させて下さい。
- ②塗 り 付 け 混練りした材料をコテで最初しごき塗りし、ただちに所定の厚みに塗り付けて下さい。
- ③養 生 降雨等を避け、硬化するまで養生して下さい。

試験成績書 971620号

試 験 成 績 書

依頼者 住 所 千葉県船橋市金杉4-5-16

会社名又は団体名 株式会社 仁田

依 頼 者 代表取締役 仁田 友人

受託試験名称 プレミックス速硬モルタル「スピーディスペシャル標準型」
+接着防水混和剤「YN-SBR II」の性能試験

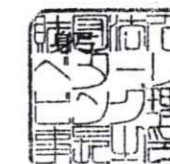
平成 9年 6月 9日付契約した依頼試験について、財団法人ベターリビング
筑波建築試験センターにおいて試験を実施した結果は次のとおりである。

平成 9年 9月 8日

東京都千代田区二番町4番地5
相互二番町ビルディング3階

財団法人 ベターリビング

理事長 北 島 照



1. 目的

株式会社仁田より試験依頼のあった、プレミックス速硬モルタル「スピーディスペシャル標準型」を接着防水混和剤「YN-SBRⅡ」で混練りした場合の性能試験を行う。

2. 試験内容

試験は住宅・都市整備公団の特別共通仕様書に定める「初期補修用プレミックスポリマーセメントモルタル」の試験方法、及び日本道路公団「断面修復材」の試験方法に準じて、下記の試験項目を行う。

- (1) 単位容積質量
- (2) フロー
- (3) 保水性
- (4) 長さ変化
- (5) 接着強さ
 - ① 標準時
 - ② 温冷繰返し10サイクル後
- (6) 透水性
- (7) 中性化
- (8) 曲げ強さ
- (9) 圧縮強さ
- (10) 凝結時間
- (11) 熱膨張性

3. 試料及び調合

試料は粉体と混和液であり、粉体の商品名、数量、混和液の主成分、数量及び調合は表-1に示す。(依頼者提出資料による。)

表-1 試料

粉 体	商品名	スピーディスペシャル (標準型)
	数 量	20kg袋
混 和 液	主成分	スチレン・ブタジエン系エマルジョン
	数 量	18kg缶
調 合 (1バッチの調合割合)	粉 体	2000g
	混和液	180g
	水	160g
粉体に対する混和液の固形分換算		4.05%

4. 試験結果

1) 単位容積質量試験

表-2 試験結果

番 号	単位容積質量 (kg/ℓ)
1	2.00

2) フロー

表-3 試験結果

番 号	フロー値 (mm)
1	179

3) 保水性試験

表-4 試験結果

番 号	水分のひろがり (平均値 mm)	保 水 率 (%)
1	74	—
2	73	
3	75	
平均	74	68

4) 長さ変化試験

表-5 試験結果

番 号	長 さ 変 化 率 (%)	質 量 減 少 率 (%)
1	0.017	1.02
2	0.041	1.04
3	0.025	1.08
平均	0.028	1.05

5) 接着強さ試験

表-6 試験結果

番 号	標 準 時		温冷繰返し10サイクル後	
	接着強さ (N/mm ²)	破 壊 状 況	接着強さ (N/mm ²)	破 壊 状 況
1	2.46	G	1.69	G
2	2.52	G	2.26	G
3	2.46	G	2.05	G
4	2.24	G	2.08	G
5	2.46	G	1.62	G
平均	2.43	—	1.94	—

5. 試験結果一覧表

表-14 試験結果一覧表

試験項目		試験結果	
単位容積質量 (kg/l)		2.00	
フロア (mm)		179	
保水性	保水率 (%)	68	
長さ変化	長さ変化率 (%)	0.028	
接着強さ (N/mm ²)	標準時	2.43	
	温冷繰返し 10サイクル	1.94	
透水性	透水量 (g)	0.4	
中性化	中性化深さ (mm)	0.0	
曲げ強さ (N/mm ²)	材齢	2時間	4.1
		1日	7.3
		28日	10.0
圧縮強さ (N/mm ²)	材齢	2時間	13.7
		1日	23.6
		28日	44.0
凝結	始発(時間:分)	0:51	
	終結(時間:分)	1:06	
熱膨張性	熱膨張係数 ($\times 10^{-5}/^{\circ}\text{C}$)	0.78	



試験成績書第10-1790号

試験成績書

依頼者 住 所 千葉県船橋市金杉7-12-3

会社名又は団体名 株式会社仁田

責任者名 代表取締役 仁田 友人

依頼試験の名称 断面修復用ポリマーセメントモルタルの品質試験

平成22年6月1日付契約した依頼試験について、当財団法人ベターリビングつくば建築試験研究センターにおいて試験を実施した結果は次のとおりである。

平成22年9月29日

東京都千代田区富士見2丁目7番2号
ステージビルディング

財団法人 ベターリビング

理事長 那珂 正



1.試験目的

株式会社仁田 より試験依頼のあった「断面修復用ポリマーセメントモルタル(製品名:粉体(スピーディスペシャルストロングHS)+混和液(YN-アクリル)」について、日本建築学会「鉄筋コンクリート造建築物の耐久性調査・診断および補修指針(案)・同解説(1998年5月20日発行)」付 1.1 断面修復用ポリマーセメントモルタルの品質基準(案)に規定される試験を行い、断面修復用ポリマーセメントモルタルの品質性能確認を目的とする。

2.試験体

試験体は、依頼者から提出された断面修復用ポリマーセメントモルタルの試料を用いたものである。依頼者提出による試料仕様・調合および練混ぜ方法を表-2-1 に示す。

表-2-1 試料仕様および使用方法

項目	詳細
種類	断面修復用ポリマーセメントモルタル
製品名	粉体:スピーディスペシャルストロングHS(20kg/袋) 混和液:YN-アクリル(18kg/缶)
製造社	株式会社マノール
調合	水粉体比=13.5% (YN-アクリル3倍液 135g:粉体 1000g)
練混ぜ方法	付 1.1 断面修復用ポリマーセメントモルタルの品質基準(案) 3.3 試料の調整 による

3.試験方法

試験は、付 1.1 断面修復用ポリマーセメントモルタルの品質基準(案)で規定される 3.試験に準拠し材齢 91 日実施した。試験項目および品質基準を表-3-1 に示す。

表-3-1 試験項目および品質基準

No	試験項目	品質基準 ^{*1}
1	3.5 曲げ強さ試験	6.0N/mm ² {61kgf/cm ² } 以上
2	3.6 圧縮強さ試験	20.0N/mm ² {204kgf/cm ² } 以上

^{*1}品質基準は、付 1.1 断面修復用ポリマーセメントモルタルの品質基準(案)2.品質に示される値を示す。

4.試験結果

軽量セメントモルタルの品質試験結果一覧を表-4-1 に示す。また、試験結果詳細を表-4-2 に示す。

表-4-1 品質試験結果一覧

No	試験項目	試験結果	品質基準 ^{*1}
1	3.5 曲げ強さ試験	14.9 N/mm ²	6.0N/mm ² {61kgf/cm ² } 以上
2	3.6 圧縮強さ試験	74.6 N/mm ²	20.0N/mm ² {204kgf/cm ² } 以上

^{*1}品質基準は、付 1.1 断面修復用ポリマーセメントモルタルの品質基準(案)2.品質に示される値を示す。

表-4-2 曲げ及び圧縮強さ試験結果

No	曲げ強さ (N/mm ²)		圧縮強さ (N/mm ²)	
	1	2	1	2
1	14.0	14.0	75.6	75.6
2	15.6	15.6	74.4	74.4
3	15.0	15.0	73.8	73.8
平均	14.9	14.9	74.6	74.6



総発売元 株式会社 **仁** **田**

〒102-0094

東京都千代田区紀尾井町3-27 剛堂会館ビル4階

Tel. 03-6261-6111 Fax. 03-6261-6112

E-mail: info@nittass.com